

ACT Alliance ウクライナ対応緊急アピール

2022年2月24日、ロシア連邦はウクライナに軍事攻勢をかけ、治安を著しく悪化させました。首都キエフを含む少なくとも8つの州と、すでに紛争の影響を受けていた東部のドネツカ州、ルハンスカ州で武力暴力が急速に拡大しました。

激しい軍事的エスカレーションにより、人命の損失、負傷者、国内および近隣諸国への民間人の大量移動、インフラや住宅への深刻な破壊や被害が発生しています。戒厳令が発動され、当局は移動を制限することができます。16歳から80歳までのウクライナ人男性は国外に出ることができません。すべての民間防衛、市民保護団体、法執行機関が積極的な武力紛争に従事しています。

公共サービス(水、電気、暖房、緊急医療・社会サービス)は厳しい状況にあり、人々の医療へのアクセスは不安のために制限されています。銀行、社会的移転、輸送などの一次サービス、保健、飲料水、電気、地方行政などの基本サービスも影響を受けています。軍事作戦の継続と不安の高まりにより、サプライチェーンは長期にわたって途絶える可能性が高い。従業員が避難したり、職場に行けなくなったりしているため、地方自治体が最低限のサービスを維持する能力も著しく損なわれています。

紛争の拡大は、数百万人のウクライナ人の人道的ニーズを深刻化・拡大させ、人間の苦しみを悪化させると予測されます。UNOCHAは、今後3ヶ月の間に、ウクライナ国内で最大670万人が避難する可能性があるとして推定しており、1,800万人が影響を受け、1,200万人が人道支援を必要とするとして予測されています。

大規模な暴力は直ちに国境に向かう人々の大規模な移動に火をつけた。2022年3月6日までに、ウクライナから隣国のポーランド(102万8,000人)、ハンガリー(18万人)スロバキア(12万8,000人)、モルドバ(8万3,000人)ルーマニア(7万9,000人)、ロシア連邦(5万3,000人)、その他のヨーロッパ諸国(18万4,000人)へと170万人を超える難民が逃れた(UNHCR資料より)という。UNHCRは今後数週間で最大400万人の難民を想定していると報道されています。このままでは、欧州で今世紀最大の難民危機となることが確実視されています。UNHCRによると、2月18日から23日の間に、ドネツク州、ルハンスク州からロシア連邦にさらに9万6千人が移動しています。

ACTのメンバーであるハンガリーインターチャーチエイド、HEKS/EPER、ルーテル世界連盟、ヨーロッパフォーラムは、ウクライナ、ハンガリー、ルーマニア、ポーランド、スロバキアで、21,532,853米ドル(約25億円)の予算で対応する予定です。

- 目的 1: 国内避難民と紛争地域住民のために、命を救うためのマルチセクター緊急支援を直ちに提供する。
(食糧支援、シェルター提供、衛生品の配布、必要な小口現金支給、心理的ケア)
- 目的 2: ウクライナの紛争の影響を受けた人々の基本的なサービスへのアクセスと回復を可能にする。
(公衆衛生、住居提供、就労斡旋、教育、子供を持つ母親や妊婦の保護)
- 目的 3: 受入コミュニティの回復力を強化し、社会的結束力を高める
(啓蒙活動、救援組織間の連携強化)